

2歳児単独定期通所での日課と支援プログラム

【2歳児単独通所における支援形態】

○集団支援（7名程度）

・月～木曜日、9:00～15:00

・日課：『自由あそび』『朝の会』『うんどう』『設定活動』『おべんとう』『おひるね』『帰りの会』

○個別支援：毎週金曜日

5領域との関連

集団支援（月～木）



朝のしたく

【支援体制・支援の内容】

○登所時の身支度に取り組む。
（1月までは母と、2月以降はスタッフと一緒に）

お弁当・水筒・連絡ノートをそれぞれのカゴに入れる
→ タオルをフックにかける

健康・生活

自由あそび

【支援体制・支援の内容】

- ・個々の興味関心や前日までのようすや課題をふまえ、事前に遊具や玩具、教材を設定しておく。
- ・朝の会が始まるまでの時間、スタッフや友だちと一緒に、室内にて過ごす。
- ・個々のようすや目標に応じて、一緒に遊んだり友だちとのかかわりを促したりする。

【遊具・玩具・教材等の例】

- ・粗大遊具：トランポリン・ジャングルジム・平均台・ボールプール 等々
- ・玩具・教材等：プレイマットやミニカー、積木やブロック、ままごと、おえかき 等々

人間関係
・
社会性



あさのかい

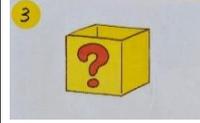
【支援体制・支援の内容】

- ・玩具を片づけ、椅子に座るよう促す。
※前日のようすをふまえ、着席する場所と担当スタッフを決めて配置しておく。
- ・着席にて、スタッフに注目しながら活動に取り組むことができるよう、声かけ をしたり直接体に触れて対応したりしながら支援する。
（個々に応じて椅子も工夫する。）

【活動内容】

『あさのうた』『ごあいさつ』『カレンダーワーク』『呼名・返事』『てあそび』
『ふれあいあそび』『絵本の読み聞かせ』『水分補給』『ごあいさつ』

言語
・
コミュニケーション

 <p>2 うんどう</p>	<p>うんどう</p>	<p>【支援体制・支援の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の日課の中で、『うんどう』の活動を行う。 ・集団の中で『順番を待つこと』『おはなし（説明）を聞くこと』『見本の動きに注目すること』『友だちのようすを見ること』等の課題を意識しながら、支援する。 <p>椅子の向きを変えてスタッフに注目する → 椅子に座ってお話を聞く・見本を見る → 呼名されるのを待つ → 呼名に応じ、取り組む → 椅子に戻り、スタッフと「で・き・た！」の手合わせをする → 全員終わるまで待つ → ごあいさつ</p>	<p>運動・感覚</p>
 <p>トイレ</p>	<p>トイレ・手洗い</p>	<p>【支援体制・支援の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の日課の中で定時排泄に取り組む。（10:30・12:30・14:30） ・スタッフが対応しながら、トイレと手洗いの一連の動作に取り組む。 <p>トイレに向かう → パンツとズボンを脱ぐ → 便座に座る → 水を流す → パンツとズボンを履く → 石鹸を付ける → こすって洗う → レバーを操作して洗い流す → 自分のタオルで手を拭く手を洗う</p>	<p>健康・生活</p>
 <p>さんぽ</p>  <p>3</p>  <p>3 せいさく</p>	<p>主活動</p>	<p>【支援体制・支援の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設定活動 『お散歩』『公園あそび』『水あそび』『おすなあそび』等の 戸外活動 『制作あそび』や季節に応じたあそび等の室内設定活動 <p>壁側に並んで座り、スタッフのおはなし（説明）を聞く → 一緒に活動するスタッフと一緒に参加する</p>	<p>認知・行動 運動・感覚</p>
 <p>おべんとう</p>	<p>おべんとう</p>	<p>【支援体制・支援の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お弁当と食具を持参してもらい、食事支援を行う。 ※個々のようすに応じ、食具の工夫や椅子の工夫を行う。 ・スタッフが必要に応じて見届けたり一緒に取り組んだりしながら準備と片づけを行う。 <p>お弁当箱と食具を袋から出す→蓋を開ける→「いただきます」をして食べる → 手と口を拭き、「ごちそうさま」をして片づける</p>	<p>健康・生活</p>

 <p>5 おひるね</p>	<p>おひるね</p>	<p>【支援体制・支援の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> カーテンを閉め、寝具を並べて敷き、パーテーションを置いて午睡環境を整える。 絵本の読み聞かせの後、金魚たいそうをして入眠しやすいよう支援する。 14:30になったら部屋を明るくして起こし、布団をロッカーにしまいうよう声かけをしていく。（個に応じながら一緒に取り組む） <p>自分のロッカーから寝具を取り出し、布団に持って行く → 時間になるまで個々に絵本を見ながらすごす → 時間になったらみんなと一緒に絵本を見る → 自分の布団の上で金魚たいそう（スタッフが揺さぶりを行う）をし、入眠 → 時間になったら起き、寝具を片づける</p>	<p>健康・生活</p>
	<p>帰りのしたく</p>	<p>【支援体制・支援の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 午睡後の水分摂取を行った後、帰りの支度を行うよう促す。 ※必要に応じてスタッフが個別対応をしたり声かけをする。 <p>寝具を自分のロッカーにしまう → 通所バックを取り出し、お弁当箱・水筒・連絡ノートを入れる → トイレに行く → 手洗い後、手を拭いてタオルを通所バックに入れる → 靴下を履く</p>	<p>健康・生活</p>
 <p>6 かえりのかい</p>	<p>かえりのかい</p>	<p>【支援体制・支援の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 椅子を並べ、椅子に座るよう促す。 着席にて、スタッフに注目しながら活動に取り組むことができるよう、声かけをしたり直接体に触れて対応したりしながら支援する。 <p>【活動内容】 『ごあいさつ』『今日の振り返り』『絵本の読み聞かせ』 『かえりのうた』『ごあいさつ』</p>	<p>人間関係・社会性</p>